

令和4年度入学試験 課題論文「出題意図」 (入試情報公開用)

食農学類 総合型選抜

地域社会貢献枠：

食品の原料原産地表示に関する資料を提示し、適切な原料原産地表示を作成させ、この制度の問題点や課題を論述させることで、資料の内容を正確に読み取る力（理解力）、資料を手掛かりに課題を検討する力（思考力）、論述する力（表現力）を総合的に評価する。

実践教育経験枠：

パックご飯の生産動向に関する2つの資料を提示し、生産が拡大傾向にある要因を説明させ、米産地の生産者（農業法人等）の対応について自身の経験と関連付けた論述を求めることで、資料の内容を正確に読み取る力（理解力）、体験と関連づけて課題を考察する力（思考力）、論述する力（表現力）を総合的に評価する。

令和4年度

課 題 論 文

農学群食農学類

(総合型選抜)

地域社会貢献枠

時間 90 分

++++++ 注 意 事 項 ++++++

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開けてはならない。
2. この問題冊子は表紙を含め3枚である。印刷の不鮮明な箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答用紙の指定欄に、アルファベットを含む5桁の受験番号を必ず記入すること。
4. 解答はすべて別紙の解答用紙に横書きで記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には、何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

地域社会貢献枠

加工食品の原料原産地表示制度は、食品原料の調達が多様化・グローバル化する中で、消費者が加工食品の原産地情報を把握することを目的に、平成 29 年 9 月 1 日からスタートした制度である。下のレシピでみそを製造した場合、資料 1 に示した食品表示基準に基づく原料原産地表示はどのようになるか、表示例を参考に解答を記述し、その根拠を答えなさい。また、この制度で考えられる問題点や課題について、消費者の視点、および、食品メーカーの視点に立って、あなたの考えを論述しなさい。(全体で 800 字以内)

【みそレシピ】

北海道産の米 1.8 kg を使用して、米麴（こめこうじ）を作製した。

大豆 1.3 kg を蒸し、蒸豆を作製した。ただし、大豆は 80% が米国産、16% がブラジル産、4% が国産とする。

米麴、蒸豆、及び国内製造の食塩 750 g を混合した後、発酵熟成させ、みそを製造した。

【表示例】

名称 加工食品の名称

原材料名 原材料 1（必要に応じた表示）、原材料 2（必要に応じた表示）、
原材料 3（必要に応じた表示）

[資料 1]

食品表示基準（抜粋）

対象原材料（使用した原材料に占める重量の割合が最も高い原材料（中略）をいう。以下同じ。）の原産地を、原材料名に対応させて、次に定めるところにより表示する。

一 対象原材料が生鮮食品であるもの（中略）にあつては、次に定めるところにより表示する。

イ 国産品にあつては国産である旨を、輸入品にあつては原産国名を表示する。ただし、国産品にあつては、国産である旨の表示に代えて次に掲げる地名を表示することができる。

(イ) 農産物にあつては、都道府県名その他一般に知られている地名

(ロ)～中略～

二 対象原材料が加工食品であるもの（中略）にあつては、次に定めるところにより表示する。

イ 国産品にあつては、国内において製造された旨を「国内製造」と、輸入品にあつては外国において製造された旨を「〇〇製造」と表示する（〇〇は、原産国名*とする。）。ただし、国産品にあつては、「国内製造」の表示に代えて、「〇〇製造」と表示する（〇〇は、都道府県名その他一般に知られている地名とする。）ことができる。

ロ ～中略～

三 一及び二の規定により表示することとされる原産地が二以上ある場合にあつては、対象原材料に占める重量の割合の高いものから順に表示する。

四 一及び二の規定により表示することとされる原産地が三以上ある場合にあつては、対象原材料に占める重量の割合の高いものから順に二以上表示し、その他の原産地を「その他」と表示することができる。

以下略

※出題者注：この場合の原産国名は対象原材料の最終加工国名を指す

出典：平成27年内閣府令第10号 食品表示基準 制定 平成27年3月20日内閣府令第10号 一部改正 令和三年内閣府令第十号の一部を抜粋

令和4年度

課題論文

農学群食農学類

(総合型選抜)

実践教育経験枠

時間 90 分

++++++ 注意事項 ++++++

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開けてはならない。
2. この問題冊子は表紙を含め3枚である。印刷の不鮮明な箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答用紙の指定欄に、アルファベットを含む5桁の受験番号を必ず記入すること。
4. 解答はすべて別紙の解答用紙に横書きで記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には、何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

実践教育経験枠

次の 2 つの資料に基づき、パックご飯の生産量が拡大している要因を説明しなさい。また、米産地の生産者（農業法人等）がパックご飯の製造販売事業に参入する場合、直面すると考えられる課題を具体的に挙げ、それへの対応策を、あなた自身の経験と関連づけて論述しなさい。（全体で 800 字以内）

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。